

平成二十五年 春季特別展

華やぎの雛まつり

— 伝統の雛をみる —

●とき

平成25年

2月23日(土)～3月31日(日)

10:00～17:00 (入館は16:30まで) 休館/月曜日

●ところ

平野の家 わざ永々棟

京都市北区北野東紅梅町11

●入館料 一般 1,000円 大学生、高校生 800円

小中学生 無料 茶菓付 2,000円

●展示内容 時代雛・御殿・雛道具・御所人形・

アンティークドール(仏)

ほか



少女たちの「ひな茶会」
子どもたちによる点前とお運び

日時 3月3日(日)

11:00、12:00、13:00、14:00、15:00 (計5席)

2,000円(入場料含む) 定員各6名

ご希望の方は3月1日までに電話、あるいはFAXで
「平野の家 わざ永々棟」にお申込み下さい。

講演会「雛のこと—雛の中の源氏の君

つくろひ立てて(紅葉賀)—」

日時 3月23日(土) 14:00～16:00

講師 京都国立博物館名誉館員 切畑 健 先生

2,500円(茶菓付・入場料含む)

ご希望の方は3月20日までに電話、あるいはFAXで
「平野の家 わざ永々棟」にお申込み下さい。

財団法人 高津古文化会館

〒602-8375 京都市上京区今出川天神筋下ル大上之町61

TEL.075-461-8700 FAX.075-461-8771

主催

平野の家 わざ永々棟

〒603-8323 京都市北区北野東紅梅町11

TEL.075-462-0014 FAX.075-462-0114

●とき
平成25年
2月23日(土)～3月31日(日)
10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館/月曜日

●ところ
平野の家 わざ永々棟
京都市北区北野東紅梅町11

●主な展示作品
享保雛 古今雛 次郎左衛門雛 有職雛 犬張子
御所人形 加茂人形 芥子人形 網蒔絵雛懐石調度
檜皮葺御殿造 市松人形 ベベドール

華やぎの雛まつり

— 伝統の雛をみる —

平成二十五年 春季特別展



平成24年
「ひな茶会」

伝統の雛さまとは？

享保雛

江戸時代の半ばに町方で大流行した雛さま。切れ長の涼しい目もと、中高のふっくらとそでいて面長の顔立ち、しなやかな美しいシルエット、とりわけ腕から手先にかけての流れるような美しさは秀逸そのもの。人形の持つぎこちなさが払拭されている。高さが60センチもあろうかという大型の一对である。貴族社会への憧れがこのように大柄で気品に満ちた雛を生み出したのであろう。



次郎左衛門雛

京の人形師・雛屋次郎左衛門が創出した雛さま。まんまるのお顔は月見団子に目鼻がついたようでこの上なく愛らしい。江戸十軒店で大評判となり、一世を風靡した雛さま。



有職雛

公家の世界で特別に注文して作らせたのが始まり。公卿の装束を有職故実にもとづいて正しく模して仕立て上げた雛さま。宮廷や公家、門跡寺院以外には出回らない雛さま。



古今雛

江戸生まれの雛さま。池の端の大榎屋が初代舟月に作らせて「古今雛」と名付けて売り出したブランド雛。この古今雛は、とある時代のご成婚雛であろうか。



フレンチベベドール
(ジャポニスムの時代)

財団法人 高津古文化会館
〒602-8375
京都市上京区今出川天神筋下ル大上之町61
■京都市バス「北野天満宮」下車 徒歩3分

平野の家 わざ永々棟
〒603-8323
京都市北区北野東紅梅町11
■京都市バス「衣笠校前」下車 徒歩2分
■京福電鉄嵐山線「北野白梅町」下車 徒歩5分
■京都駅より地下鉄「烏丸今出川」經由 市バス「北野白梅町」下車

